

お・も・て・な・しで街を活性化！！

## 高円寺の飲食店に英語メニューを設置！！

今年の6月から高円寺地域の飲食店200店舗で、外国人をもてなす「英語メニュー」を用意しています。この取り組みは、外国人が気軽に食事ができるようにすることで、多くの外国人を高円寺へ呼び込み、街を活性化しようと始まったものです。

2014年に日本を訪れた外国人の数は、13,413,467人（日本政府観光局ホームページ参照）で10年前の2倍以上になっており、中央線沿線を訪れる外国人の数も増えています。さらに、東京オリンピックが行われる2020年に向けて、東京にはさらなる外国人が訪れることが予想されます。そのような状況の中、今後増えるであろう外国人をもてなし、高円寺の街に呼び込むために始まったのが今回の英語メニューです。

今回のプロジェクトは、中央線あるあるプロジェクト実行委員会（区内の産業団体、企業、NPO、杉並区等で構成する団体）の主催で始まりました。杉並区の魅力を「観光」という視点から広くPRすることで、区への持続的な集客力を高め、「まちなのにぎわい」と「商機」の創出につなげる事を目的にしています。



英語メニューは、中央線あるあるプロジェクトが各店舗のメニューを作成しています。英語メニューがあることで、日本語が分からない外国の方でも、メニューの内容を理解したうえで注文することができます。さらに、「高円寺のお店には、英語メニューが多い」という情報が広がることで、区の内外から外国人が街を訪れるきっかけとなることが期待されます。英語メニューがあるお店には、「ENGLISH MENU」と書かれたステッカーを掲示してあるため、一目で英語メニューがある店であることが分かるようになっていました。また、希望する店舗には、無料で「指差し英会話集」や「英会話DVD」を配布し、外国人とのコミュニケーションをとりやすくしています。実際に、設置した店舗の1つでは、実際に外国人に英語メニューを提供し好評です。

プロジェクトの一員で、区内でデザイン制作や地域活性化事業を展開するHOT WIRE GROUPの佐久間さんは「メニューを設置して終わりではなく、お店の方に積極的に活用してもらうことが大切。口コミにより多くの方を呼び込みたい」と話していました。

現在、阿佐谷地域、200店舗分のメニューを作成し、今年度中に設置する予定です。さらに、今後は荻窪地域と西荻地域にも広げていくことを検討しています。

### 【報道機関 問い合わせ先】

産業振興センター観光係 電話 03-5347-9184

総務部広報課 電話 03-3312-2111